

ロンドン五輪の公式プールにも導入、高品質の紫外線水処理装置

日本第1号として八王子スポーツクラブに導入

フィットネスクラブの会員の高齢化とともに、注目されてきているのが身体への負担が少なく、疾患を抱える方でも安心して行うことができる水中でのエクササイズ。一方で、利用者側には、水質への懸念を理由にプールを避ける方がいるのも事実。そこで、より快適な環境でプールを楽しんでもらおうと、本年1月、八王子スポーツクラブは紫外線により水質を向上させる紫外線水処理装置を導入した。この装置は、2012年のロンドンオリンピックのプールにも導入されたもので、同施設は日本での導入第1号店となる。

「水質向上」という課題をクリア

創業当時からスイミングの選手育成コースを設け、大会での入賞者も多数輩出するなどスイミングに力を入れる八王子スポーツクラブ。近年は高齢者の利用も多く、またベビースイミングも提供する同施設のプール利用者は、下は1歳半から最高齢は約20年以上にわたり通い続けているという91歳の方までと非常に幅広い。年齢に関係なく、「生涯スポーツ」といわれる水泳を多くの利用者に長く楽しんでもらうためにも、水質の向上は同社にとって重要な課題となっていた。

同施設では、かつては一般的なフィルター仕様のろ過機を利用していたが、約7年前、より微細な固形物を取り除いて水の透明度を高められると、ミウラ化学装置株式会社（以下、ミウラ化学装置）の珪藻土を利用したろ過機へ変更。そしてこの度、より水質向上に効果を発揮する製品として、同社が輸入や販売～メンテナンスを行う、イギリス atg 社製の紫外線水処理装置を導入した。これにより、利用者やコーチらが安心して入水できる水質が確保され、好評を得ている。同装置は、ロ

ンドンオリンピックの公式プールでの導入のほか、イギリスやアメリカを含む世界のフィットネスクラブやレジャープール、スパなどに5,000基以上導入されている。おそらくこの種の紫外線水処理装置としては世界一のシェアではないだろうか。

目の痛みの原因となる「結合塩素」を除去

プールに遊泳者がもち込む汗や皮膚細胞に含まれるアンモニアや尿素は、水の消毒に使用される塩素と反応すると、「結合塩素」と呼ばれる有害物質を生成する。「結合塩素」は、目の充血や頭痛、臭い、皮膚トラブルを引き起こす原因となり、ひどいものでは喘息を発生させることもある。紫外線水処理装置は、紫外線がもつ強い殺菌作用を利用し、化学薬品を使わずに「結合塩素」の分子を破壊。さらに、塩素では死滅しないクリプトスポリジウムやレジオネラなどの菌を殺菌するほか、水中の有機物も除去することで、透明度の向上にも効果を発揮する。装置は50×50cmとコンパクトで場所もとらず、複雑な操作も必要ない。初期のコストも設置工事を含めて300万円ほどと、オゾンや電解次亜などの一般的な高度水処理装置よりも低くなっている。

実際、同施設の結合塩素数値は、導入前0.6～0.7であったところ、導入後は0.3前後で安定している。八王子スポーツクラブ支配人村田高治氏は、導入による変化を次のように述べる。

「珪藻土に変えてからは水が柔らかくなったことを感じていたのですが、水の白濁が少し気になっていました。しかし、今回の装置を導入してからはほとんど気になりません。アルバイトスタッフからは、『塩素臭がほとんど気にならなくなった』との声も聞かれて



八王子スポーツクラブ 支配人 村田高治氏

います」

同装置は有機物由来の汚れも付きにくくするため、村田氏は「プールの壁を清掃する際に使う洗剤の量も以前より少なくて済む」と喜びを語る。先月行った清掃作業では、以前目に付いた褐色汚れがほとんどなくなっていたため、楽に清掃できたという。さらに、水質が向上することで施設側は換水や補給水量を減らすことができるというメリットもある。

今後について、最後に村田氏は次のように述べた。

「効果を確かめてからと思っていたので、これまでお客さまには装置の導入をお伝えしていませんでした。でも、結合塩素の数値を見てもその効果ははっきりと確認できたので、そろそろ大々的にアピールしようと思っています。すでに違いを感じてくれているお客さまもいるようなのですが、きちんと「見える化」して、その理由や効果を理解していただくことにより、さらに快適にプールを楽しんでもらえたらいいですね」

もちろん既存顧客だけでなく、新しい顧客の誘引要素としても、引き続きミウラ化学装置のサポートを得ながらアピールしていきたいと考えている。